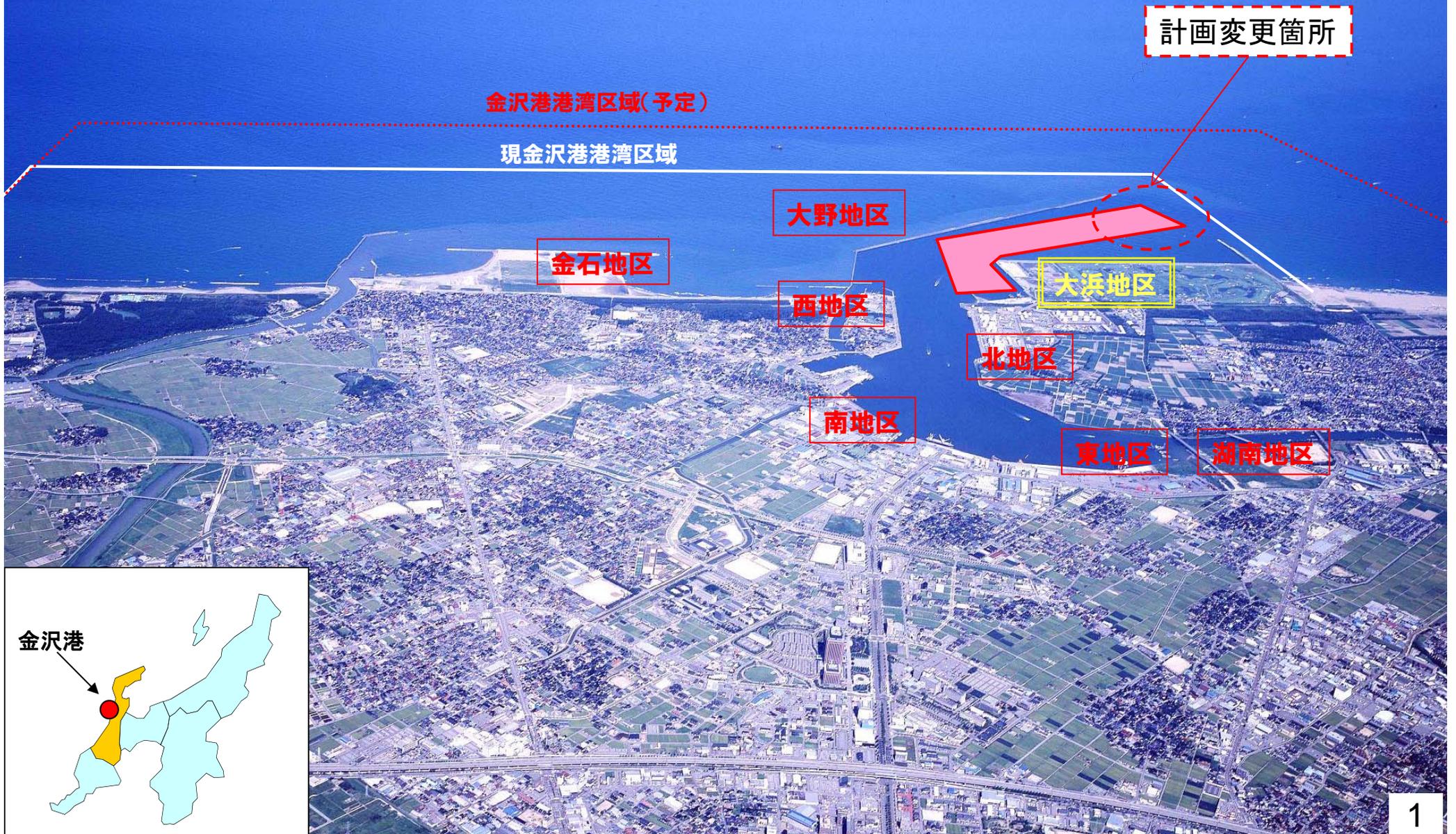


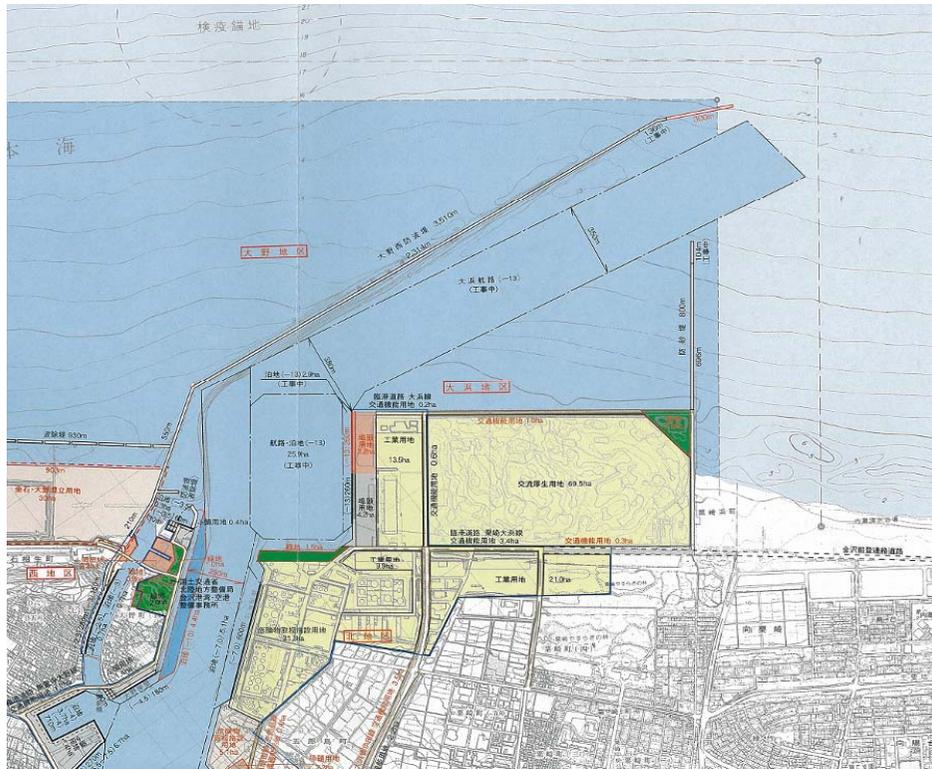
# 金沢港港湾計画 一部変更

平成24年3月12日  
交通政策審議会  
第48回港湾分科会  
資料 1-2

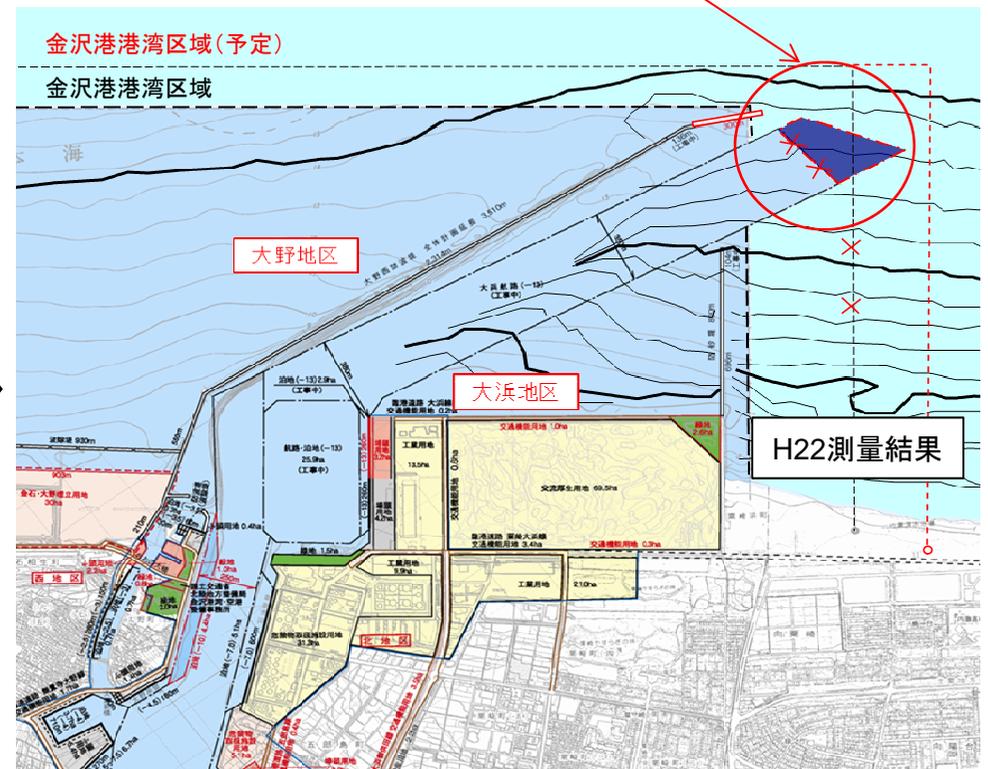


# 金沢港(大浜地区)の計画変更の概要

(既定計画)



(今回計画)

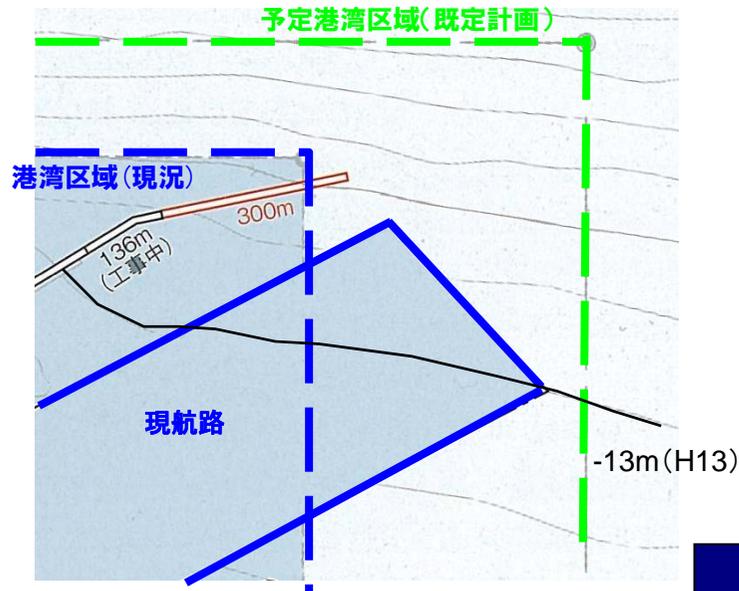


**【計画変更内容】**  
 沿岸漂砂による埋没発生箇所(H22測量)及び将来的な埋没範囲を考慮し、航路を延伸する計画。

| 凡 例 |                   |
|-----|-------------------|
|     | 岸 壁 (計 画)         |
|     | 航 路・泊 地 (既 設)     |
|     | 物 繰 場 (計 画)       |
|     | 臨 港 道 路 (計 画)     |
|     | 埋 没 去 (計 画)       |
|     | 其 他 の 道 路 (計 画)   |
|     | 船 繰 場 (既 設)       |
|     | 緑 地 (既 設)         |
|     | 外 か く 施 設 (計 画)   |
|     | 其 他 の 緑 地 (既 設)   |
|     | 其 他 の 用 地 (計 画)   |
|     | 其 他 の 用 地 (既 設)   |
|     | 小 頭 用 地 (計 画)     |
|     | 臨 港 地 区 (既 設)     |
|     | 利用形態の見直しを検討が必要な区域 |

# 大浜地区 航路延長範囲及び港湾区域の考え方

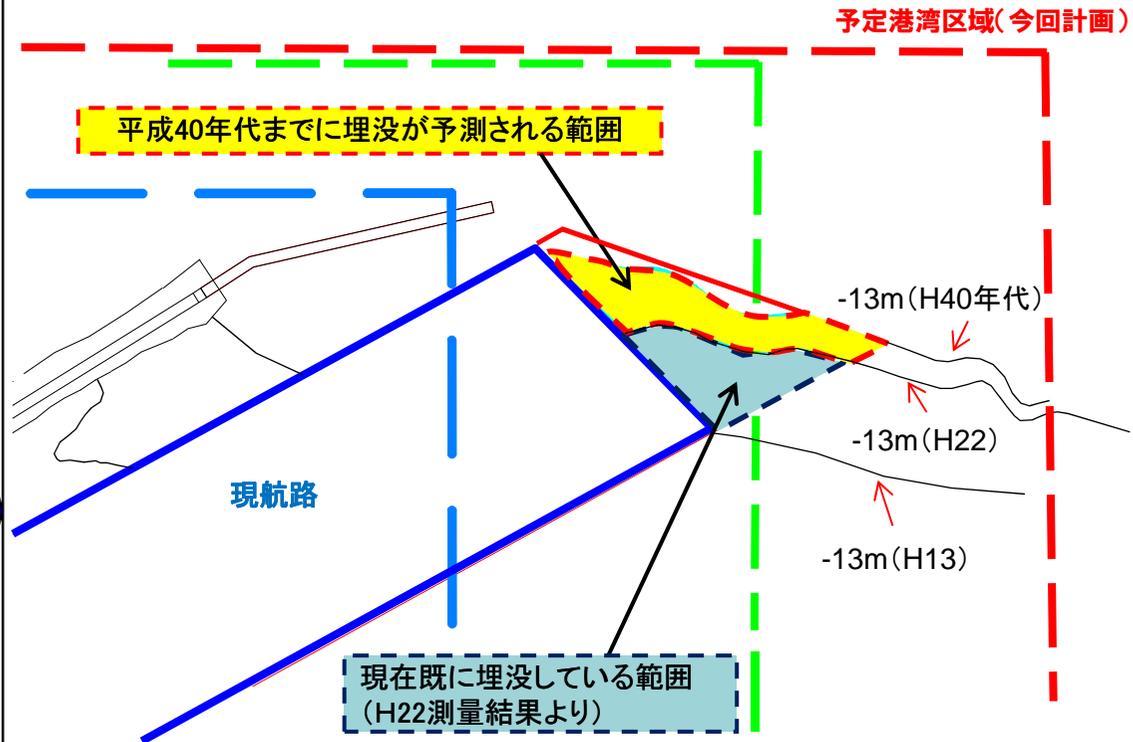
## 既定計画(H14改訂)



### 【H14改訂時】

- ・計画当時（平成13年）の深浅測量をもとに航路水深-13mを確保できる範囲を設定した。

## 今回計画



### 【今回計画】

- ・現在航路延長上において、既に-13m以浅となっている箇所がある（H22測量）。
- ・平成40年代には航路端の埋没がそれ以上進行しないと予測している。
- ・今回計画では、平成40年代までの埋没予測範囲を含む航路法線を位置づける（それに伴い、予定港湾区域も拡大）。

# 確認の視点

| 確認事項                 | 国としての確認の視点   |
|----------------------|--|
|                      | 基本方針※  |
| 船舶航行等の安全の確保のための航路の拡大 | <p><b>I 今後の港湾の進むべき方向</b></p> <p>1 産業の国際競争力と国民生活を支える物流体系の構築<br/>(4)船舶航行等の安全の確保と効率性の向上</p> <p><u>港湾及び関連航路における船舶の安全で円滑な航行及び港湾における諸活動の安全を確保するため、船舶の大型化や高速化を勘案しつつ、防波堤、航路、泊地の整備等を行う。特に、長周期波等に起因する荷役障害や港湾施設への被害に対しては、利用船舶や荷役形態に応じて、所要の荷役稼働率と安全性を確保するため、防波堤等の整備や係留方法の改善等を総合的に行う。</u></p> |

※港湾の開発、利用及び保全並びに開発保全航路の開発に関する基本方針(平成23年9月15日施行)